

# 取扱説明書

## QwertyCase Patch (クワージーケース パッチ)



## 【目次】

第1章 はじめに.....	1
1-1 商品構成.....	1
1-2 安全にお使いいただくために.....	1
第2章 本体のデザイン.....	2
第3章 本体の持ち方.....	3
第4章 各部の名称とキー配列.....	5
4-1 上面(右から左へ).....	5
<補足1> 上面スイッチの振動について.....	5
4-2 下面(中央).....	5
<補足2> 充電に関する振動について.....	5
4-3 背面(キー配列).....	6
<補足3> Editキー、123/?キー、日本語/英語切替キーについて.....	6
第5章 黒プレートの利用方法.....	8
第6章 Bluetooth 接続.....	9
6-1 Bluetooth の初期化.....	9
■手順.....	9
6-2 Bluetooth 接続設定.....	9
■手順.....	9
6-3 別の iPhone と Bluetooth 接続.....	9
第7章 文字入力.....	10
7-1 初期設定.....	10
7-2 文字入力.....	10
7-3 テキスト編集.....	10
第8章 電話ダイヤル機能.....	12

第9章 VoiceOver コマンド .....	13
1 本指 .....	13
2 本指.....	14
3 本指.....	14
4 本指.....	15
第10章 Web ブラウズ.....	16
仕様.....	17
サポートについて.....	18
無料修理規定.....	19
保証書 .....	21
お問い合わせ.....	21

# 第1章 はじめに

QwertyCase Patch は、視覚に障がいがあり、見えにくい・見えない方が iPhone を利用する際に、本キーボードを iPhone と Bluetooth 接続することで、テキストの入力や、電話のダイヤル発信・切断の操作を便利に行うことのできる携帯型の補助機器です。

※ QwertyCase Patch は iOS バージョン 12.0 以上にてお使いいただけます。

※ iPad OS や Android OS ではお使いいただけませんのでご注意ください。

## 1-1 商品構成

- ① QwertyCase Patch 本体
- ② 充電ケーブル(USB type C)
- ③ ハンドストラップ
- ④ 取付用の黒プレート 4 枚
- ⑤ 簡単マニュアル(音楽 CD 版)・・・基本操作を録音しています
- ⑥ 簡単マニュアル(墨字版)・・・取扱説明書の一部を抜粋しています
- ⑦ 取扱説明書(墨字版)・・・本冊子

## 1-2 安全にお使いいただくために

本製品を安全に使い続けるために、下記の事項にご注意ください。

- 強い磁気や電磁波が発生するところからは、できるだけ離れて使用してください。
- 本製品を落としたり、ぶついたりしないでください。強い衝撃が加わると故障の原因となります。
- 電源コードなどのコード類を差し込む際は、無理に押し込まず、力を抜いて本体に対して垂直に挿し込んでください。
- 車中や暖房器具のそばなど、温度が高くなる場所へ本製品を置かないでください。直射日光もなるべく避けてください。
- QwertyCase Patch は磁気を発するため、クレジットカードなど磁気に弱い製品の上に重ねないでください。

## 第2章 本体のデザイン

QwertyCase Patch のカラーは、本体ケース、キーボード、スイッチすべてが黒色で統一されています。

本体の広い面には、文字を入力するためのキーが、規則正しく計30個配置されています。

横長の状態で、左右にそれぞれ15個ずつキーがあり、縦に5個、横に3個のブロックが2つ配置されています。

パソコンのキーボードと同じように、両手の人差し指を置くホームポジションのキーには突起があります。

QwertyCase Patch のキーボードには、アルファベットや数字等の印字はありませんが、パソコンのアルファベットと同じキー配列を採用しています。

左右に配置されたキーボードのブロックの間に、Qwerty case のロゴが白色でプリントされています。

QwertyCase Patch 本体側面の一方には、中央に2つのスライドスイッチと、その外側にそれぞれ3つずつ、計6個のファンクションキーが配置されています。ファンクションキーの両側にガイド用としての突起があり、左右で計4個の突起があります。

反対側の側面中央には、充電用の端子が1つあり、広い面が端子の形に合わせて少し膨らんだデザインになっています。

ここからは、QwertyCase Patch 本体をこちらが指定する方向に持っていただいた状態で、キーやスイッチの名前をご説明します。



### 第3章 本体の持ち方

QwertyCase Patch 本体を、横長の状態にし、自分の胸もしくはお腹の前に両手で左右から挟んで持ちます。

30個のキーが配置された広い面を背面(向こう側)にし、スライドスイッチとファンクションキーが配置された面を上に向けます。

このときホームポジションにあたる突起の付いたキーに、両手の人差し指を置き、指と指の間隔を詰めて、そのまま下方向に中指、薬指、小指を置きます。

上面のファンクションスイッチは、必要に応じて親指もしくは人差し指で押します。(ご自身で押しやすい指を使ってください。)



本体前面(自分側)を親指で触れると、中央に長方形のふくらみがあり、滑り止めの加工がされています。

ここに磁石が内蔵されており、取付用の黒プレートとセットで利用します。(黒プレートについては別の章でご紹介します。)



なお、本製品付属の簡単マニュアル(墨字版)に掲載されているキー配列のイメージ図は、30個のキーが配置された広い面が、手前(自分側)に向いた状態で説明されています。簡単マニュアル(墨字版)を参照する場合は、実際の向きに置き換えてご活用してください。本取扱説明書では、QwertyCase Patch 本体を横長の状態にし、広い面に配置された文字キーを背面(向こう側)、スライドスイッチとファンクションキーを上面にした状態で説明します。

左

【下面】

右



【上面】

## 第4章 各部の名称とキー配列

### 4-1 上面(右から左へ)

[Shift キー] [Space キー] [Command キー] [モード変換スイッチ] [電源スイッチ] [Voiceover キー] [Space キー] [Delete キー]

電源スイッチは、左にスライドすると[ON]、右が[OFF]です。

モード変換スイッチは、左が[電話]、中央が[待機]、右が[文字]です。

待機モードでは Bluetooth 接続が解除され、自動で節電モードに切替わります。

#### <補足1> 上面スイッチの振動について

電源スイッチを[ON]にすると、短く振動します。

モード変換スイッチを[電話]にすると、長く振動します。

モード変換スイッチを[文字]にすると、短く振動します。

### 4-2 下面(中央)

充電端子 USB Type-C

#### <補足2> 充電に関する振動について

QwertyCase Patch は、約60分で満充電になります。製品を使用する前に充電をお願いします。

電源 ON の状態で、充電ケーブルを接続すると、長く振動します。

電源 OFF の状態では振動しません。

バッテリー残量が 20%を切ると短い振動が2回、10%を切ると短い振動が3回なります。

バッテリー残量は iPhone のウィジェット機能で確認してください。



## 4-3 背面(キー配列)

左右のブロックに対し、横の列は中央に近いキーを内側から「内1列目」、外側に向かって「中2列目」、「外3列目」とし、上面から下面に向かって縦5つのキーを説明します。

### 左ブロック(上から下)

内1列目 T R E W Q

中2列目 G F D S A

外3列目 B V C X Z

### 右ブロック(上から下)

内1列目 Y U I O P

中2列目 H J K L Enter

外3列目 N M Edit 123/? 日本語/英語切替

### <補足3> Editキー、123/?キー、日本語/英語切替キーについて

■[Editキー]を押すと、「文字入力モード」と「編集モード」が切り替わります。

「文字入力モード」に切り替えると長く振動します。

「編集モード」に切り替えると短く振動します。

「文字入力モード」は、文字入力やアルファベットを含む VoiceOver コマンドで利用します。

「編集モード」は、カーソル移動や矢印キーを含む VoiceOver コマンドで利用します。

「編集モード」では、アルファベットが次のように置き換わります。

Eが↑キー

Mが↓キー

Fが←キー

Jが→キー

Vが Control キー

Iが Escape キー

Oが Option キー

Pが F11 キー

■[123/?キー]を押すと、短く振動し、数字と記号が入力できるモードに切り替わります。

もう一度押すと長く振動し、モードから抜けます。記号を入力するには、該当するキーを押すか、Shift キーを押しながら該当する数字キーを押します。例えば Shift キーを押しながら1を押すと「!」が入力されます。

読点はそのまま「,」(Cの位置)、句点は「.」(Xの位置)を押すと入力されます。

#### 左ブロック(上から下)

内1列目 5% 4\$ 3# 2@ 1!

中2列目 ]} [{ =+ | \ - \_

外3列目 ;; “ ” , < . > / ?

#### 右ブロック(上から下)

内1列目 0) 9( 8\* 7& 6^

中2列目 | ` £ ¥ Enter

外3列目 ~ · Edit 123/? 日本語英語切替

■[日本語/英語切替キー]を押すと、日本語ローマ字入力と英語入力モードが切り替わります。

英大文字を入力する場合は、Shift キーを押しながら入力します。

Shift キーを素早く2回押すと、連続して英大文字が入力できます。解除も同じ操作です。

## 第5章 黒プレートの利用方法

本製品には黒プレートが4枚付属しています。

iPhone と QwertyCase Patch を磁石で密着させて使用する場合は、付属の黒プレートを利用します。

黒プレートは裏面がシールになっており、iPhone 本体や iPhone ケースに貼付することもできますが、必ずしもシールをはがして利用する必要はありません。

iPhone とケースの間に挟んでいただいても、磁石の力が強いので、十分お使いいただけます。

iPhone からケースを取り外し、ケースの内側に黒プレートを1～2枚並べて、ずれないように iPhone をケースに戻します。このとき、黒プレートのシール側を iPhone 本体側にして、ケースにいれてください。



## 第6章 Bluetooth 接続

### 6-1 Bluetooth の初期化

新規に iPhone と接続する場合や、別の iPhone と接続する場合、QwertyCase Patch の操作で Bluetooth を初期化してください。

#### ■手順

- ① QwertyCase Patch の電源を入れたまま、VoiceOver キーと Enter キーを同時に5秒間押し続けます。
- ② 振動すると、初期化が完了です。

### 6-2 Bluetooth 接続設定

QwertyCase Patch を iPhone と接続する場合、次の手順で設定してください。

#### ■手順

- ① iPhone の操作で、設定から Bluetooth を有効にする。
- ② QwertyCase Patch の電源スイッチを ON にする。
- ③ iPhone の操作で、Bluetooth デバイスの一覧から最初に「QwertyCase Text」を接続する。
- ④ 次に「QwertyCase Dial」を接続する。

### 6-3 別の iPhone と Bluetooth 接続

QwertyCase Patch 1台に対して、複数の iPhone を設定することはできません。また端末情報を保存して、切り替えてご利用いただくこともできません。

QwertyCase Patch を別の iPhone と接続する場合、既存の iPhone で、Bluetooth デバイスの一覧から「QwertyCase Text」と「QwertyCase Dial」の登録を削除した後、6-1 の手順にそって Bluetooth を初期化します。初期化が完了したら、6-2 の手順にそって iPhone と QwertyCase Patch を Bluetooth 接続します。

## 第7章 文字入力

### 7-1 初期設定

QwertyCase Patch を、日本語対応の iPhone に Bluetooth 接続すれば、初期設定をしなくても、日本語の入力が可能です。日本語ローマ字入力ができない場合は、キーボードに日本語が登録されていない可能性があります。登録されているキーボードは、[日本語-ローマ字入力]もしくは[日本語-かな入力]でも問題ありません。

また入力の際、[日本語/英語切替キー]を押すと、日本語と英語が切り替わりますが、[絵文字]のキーボードが登録されていると交互に切り替わらないため、予め削除することをお勧めします。

大文字のアルファベットや記号の入力、変換等に問題があるときは、設定の[一般][キーボード][ハードウェアキーボード]の[自動大文字入力][自動修正][ピリオドの簡易入力]をオフにしてください。

### 7-2 文字入力

QwertyCase Patch 上面のモード変換スイッチを、右側の[文字]に切り替えます。モード変換スイッチを[文字]にすると、短く振動します。

ホームポジション[F][J]を基準に、人差し指から小指までを背面のキーボードに置いて、ローマ字入力を行います。

入力を間違えたときは、Delete キーを押して削除します。

文字列の変換には、Space キーを押します。

変換候補を戻すには、Shift キーを押しながら Space キーを押します。

変換後は、Enter キーを押して文字列を確定します。

### 7-3 テキスト編集

カーソルの移動やテキスト編集を行うには、QwertyCase Patch を文字入力モードから、編集モードに切り替える必要があります。

編集モードへの切り替えは、「4-3 背面(キー配列) <補足3> Editキー、123/? キー、日本語/英語切替キーについて」を参考にしてください。

アクション	ショートカット
1文字前/後にカーソルを移動	←、→
1単語前/後にカーソルを移動	Option+←、Option+→
1行上/下にカーソルを移動	↑、↓
行の先頭/末尾にカーソルを移動	Command+←、Command+→
段落の先頭/末尾にカーソルを移動	Option+↑、Option+↓
テキストフィールドの先頭/末尾に移動	Command+↑、Command+↓
テキストの範囲選択	Shift+上記のカーソル移動コマンド
テキストをすべて選択	Command+A
テキストをコピー/切り取り/貼り付け	Command+C、Command+X、 Command+V
直前の変更を取り消す/やり直す	Command+Z、 Shift+Command+Z

## 第8章 電話ダイヤル機能

QwertyCase Patch では、電話のダイヤル発信と切断が簡単に行えます。  
モード変換スイッチを[電話]にすると、長く振動します。  
キーボードの左ブロックが数字キーに割り当てられています。  
突起のあるFキーが5になり、まわりの数字キーの配置は電話機と同じです。  
5を基準に内側の右隣りが4 外側の左隣りが6 上が2 下が8です。  
左下のZキーの位置が「切断」、Qキーの位置が「発信」です。

### 左ブロック(上から下)

内1列目 1 4 7 \* 発信  
中2列目 2 5 8 0  
外3列目 3 6 9 # 切断

電話の発信は、入力したい電話番号の数字キーを押し、発信ボタン(Qキーの位置)を押します。

数字キーを押すたびに、ダイヤル音がなります。

iPhone がマナーモードの場合は、ダイヤル音はなりません。

入力を間違えた場合、Delete キーを押すと、入力されたダイヤルを1つずつ消すことができます。

切断ボタン(Zキーの位置)を押すと、入力されたダイヤルをすべて消すことができます。

直前に通話した電話番号に再ダイヤルする場合は、発信ボタンを再度押します。

リダイヤルや連続通話の場合、通話終了後にシステムが再起動されるので5秒後にご利用ください。

## 第9章 VoiceOver コマンド

QwertyCase Patch の VoiceOver キーを利用して、iPhone の VoiceOver コマンドが使えます。

VoiceOver キーを押すことは、Control キーと Option キーを同時に押すのと同じです。

VoiceOver キーが動作しない場合、iPhone の操作で、設定から[アクセシビリティ][VoiceOver][入力][修飾キー]で、[Control+Option]を選択してください。

- ※ 矢印キーを含むコマンドを利用する場合は、[Edit]キーを押して、短い振動にセットしてから行います。
- ※ 矢印キーを使って VoiceOver を制御するには、←キーと→キーを同時に押し、クイックナビゲーションをオンにします。QwertyCase Patch 起動時はオンになっています。  
←→キーを押すごとにオン/オフが切り替わります。テキスト編集時は自動的にクイックナビゲーションがオフになります。
- ※ アルファベットを含むコマンドを利用する場合は、[Edit]キーを押して、長い振動にセットしてから行います。
- ※ 記号を含むコマンドを利用する場合は、記号と数字を切り替える[123/?]キーを押して、短い振動にセットしてから行います。

### 1 本指

ジェスチャー	コマンド	内容
右スワイプ	→キー 《J の位置》	次の項目へ移動
左スワイプ	←キー 《F の位置》	前の項目へ移動
上スワイプ	↑キー 《E の位置》	ローターで前の要素に移動
下スワイプ	↓キー 《M の位置》	ローターで次の要素に移動
ダブルタップ	VO+Space キー 同時に↑↓キー	項目の実行
ホームボタン	VO+H キー	ホーム画面に移動



ホームボタンを素早く2回	VO+H キーを2回	APP スイッチャーを開く
スクラブ	Escape キー 《I の位置》	直前の画面に戻る
ダブルタップ&ホールド	VO+Shift+M キー	選択したアプリの削除やメニューを表示

## 2 本指

ジェスチャー	コマンド	内容
ローター	↑+←→キー	ローター項目の変更
上スワイプ	VO+B キー	画面の項目を先頭から連続読み
下スワイプ	VO+A キー	現在位置から連続読み
シングルタップ	Control キー 《V の位置》	読み上げの一時停止/再開
ダブルタップ	VO+ハイフンキー 《A の位置》	・電話応答/切断 ・音楽やビデオの再生/一時停止
トリプルタップ	VO+I キー	項目セレクト
ダブルタップ&ホールド	VO+スラッシュキー 《Z の位置》	カスタムラベルの割り当て

## 3 本指

ジェスチャー	コマンド	内容
右スワイプ	Option+→キー	ホーム画面で前のページに移動
左スワイプ	Option+←キー	ホーム画面で次のページに移動
上スワイプ	Option+↑キー	・ホーム画面からスポットライト検索を開く ・メール本文やウェブページなどで次の画面にスクロール ・VO+M キーでステータスバーに移動してから[通知センター]を表示

下スワイプ	Option+ ↓キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール本文やウェブページなどで前の画面にスクロール</li> <li>・APP スイッチャーでアプリを閉じる</li> <li>・VO+M キーでステータスバーに移動してから[コントロールセンター]を表示</li> </ul>
ダブルタップ	VO+S キー	読み上げのオン/オフ
トリプルタップ	VO+Shift+F11 キー	スクリーンカーテンのオン/オフ
クアドラプルタップ	VO+Shift+C キー	直前に読み上げた内容をクリップボードにコピー

## 4 本指

ジェスチャー	コマンド	内容
画面の上半分をシングルタップ	Control+ ↑キー	画面の先頭の項目へ移動
画面の下半分をシングルタップ	Control+ ↓キー	画面の最後の項目へ移動
ダブルタップ	VO+K キー	キーボードヘルプをオン (キーの名前を読み上げ) Escape キーでオフ

## 第 10 章 Web ブラウズ

Web ブラウズのショートカットキーを使うと、Web ページ内の見出しやリンクなどの要素に対してジャンプすることができます。前の要素に移動するには、Shift キーを押したまま同じキーを押します。

また、Web ブラウズのショートカットキーは、クイックナビゲーションがオンの状態で有効です。ショートカットキーが効かないときは、VO+Q キーを押してクイックナビゲーションを ON にします。

項目タイプ	ショートカット
見出し	H
リンク	L
テキストフィールド	R
ボタン	B
フォームコントロール	C
イメージ	I
表	T
静的テキスト	S
ARIA ランドマーク	W
リスト	X
同じタイプの項目	M
レベル 1 の見出し	1
レベル 2 の見出し	2
レベル 3 の見出し	3
レベル 4 の見出し	4
レベル 5 の見出し	5
レベル 6 の見出し	6

## 仕様

※仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

製品名	QwertyCase Patch
本体配色	ブラック
寸法	横 147mm 縦 72mm 厚さ 12mm
重量	100g
本体インターフェイス	USB Type-C 端子
バッテリー電池容量	リチウムポリマー 250mAh
バッテリー充電時間	60 分
バッテリー使用時間	約 40 時間 (利用頻度が高い場合は、2 日間に 1 度充電する)
付属品	充電用ケーブル(USB type C)、ハンドストラップ、 黒プレート 4枚 簡単マニュアル(墨字、音楽 CD)、取扱説明書(墨字)
標準小売価格	41,800 円(税込)
保証期間	1 年間

## サポートについて

本マニュアルに記載されている内容など、QwertyCase Patch 本体の使用方法については、下記のサポート体制をご用意しております。

1. 電話サポート(平日の午前 10 時～午後 4 時まで)03-5292-5644
2. 電子メール eigyo@rabbit-tokyo.co.jp
3. メールリングリスト qwertycase@rabbit-tokyo.co.jp  
弊社開設の QwertyCase Patch 専用情報メールリングリストです。

### <ご注意>

QwertyCase Patch をご利用いただいている環境でも、個々にインストールされたアプリケーションソフトの操作サポートにつきましては、お断りしておりますので予めご了承ください。なお、アプリの操作サポートをご希望の方には、有料会員サポート(ラビット倶楽部)をご用意しておりますので、別途ご相談ください。

今後 QwertyCase Patch 製品サイトに、サポート情報を掲載してまいりますので、合わせてご活用ください。

## 無料修理規定

1. 取扱説明書の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。(送料を除く)
  2. 無料修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または株式会社ラビットまでお送りください。
  3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、株式会社ラビットまでご相談ください。
  4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料となります。
    - (イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障および損傷
    - (ロ)お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および損傷
    - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害、虫害、異常電圧などによる故障および損傷
    - (ニ)本書のご提示がない場合
    - (ホ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
  6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ※ お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、予めご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または株式会社ラビットまでお問い合わせください。

<XE>

## 保証書

品名	Bluetooth キーボード	機種	QwertyCase Patch
保証対象	本体	保証期間	お買い上げ日より 1年間
シリアル番号			
お客様情報			
お名前	様		
ご住所	〒		
電話番号			
販売店情報			
販売店名・住所・電話番号			
お買い上げ日			

【お客様へ】お手数ですが、お名前、ご住所、電話番号をご記入ください。

【ご販売店様へ】お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号をご記入ください。

## お問い合わせ

株式会社ラビット

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-7 スカイパレス 401

【TEL】 03-5292-5644(代表)

【FAX】 03-5292-5645

【E-Mail】 eigyo@rabbit-tokyo.co.jp